生活指導だより

２０１９．１０．１５（火）
岸和田市立八木南小学校
校長　谷　早苗
生活指導委員会

☆☆　スマホの使用について　☆☆

八木南小学校でも最近スマホやケータイでのトラブルが目立ってきました。６年生は１学期に､５年生は２学期の日曜参観にKDDIの方から使い方や怖さなどを教えていただきました。５，６年生に聞くと、８割くらいの人たちが既に自分のスマホやケータイを持っているか、家の人のスマホやタブレットを使っているということでした。そんな中でご家庭でも気を付けていただいて守ってほしいことがあります。

子供の持っているスマホなどは必ず保護者の方で見ていただいて管理して下さい。

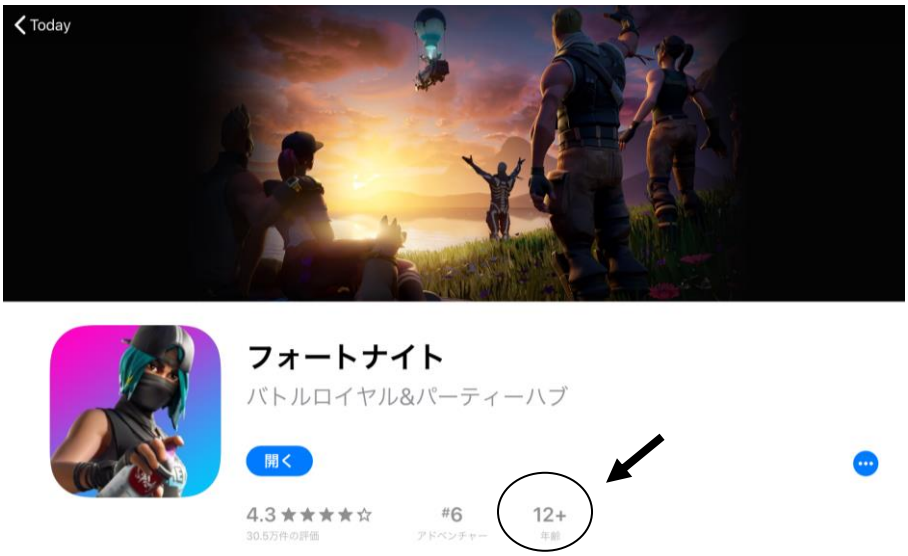
スマホやケータイは保護者の方の契約になっています。すなわち子どもたちは保護者の物を貸してもらっているということです。もし、トラブルや、犯罪に巻き込まれると保護者の責任になります。そのために次の決まりをご家庭でお話しください。

★寝る時などはスマホをみんなのいる場所に置くようにしましょう。
★子どものスマホなどの暗証番号やロック解除番号などを必ずお子さんと共有しましょう。
★ゲームなどの課金やラインなどの内容も定期的にチェックしましょう。
★必ずフィルタリングをかけましょう。

また、子どもたちには次のような事柄をお話ししています。

◎勝手に人の写真を撮らない。（肖像権の侵害になります）
◎他人の写真を勝手にラインやSNSに投稿しない。GPS機能などで自宅が特定されたり、誰もいないときに知らない人が訪ねてきたりすることがあります。また、写真を合成されて世界中に広がる可能性があります。自分の画面から削除してもダメです。
◎自分の感情（腹が立つ、いやだ、悲しい、悔しい）などを書かない。相手は顔を見ていません。気持ちや本当の意味を正確には伝わりません。しかも小学生のつたない文章では間違いなく誤解を招きます。これがトラブルの原因です。
◎グループラインなどに悪口を書いたり、仲間を外すようなことは書いたりしないで必ず本人と面と向かって話すようにする。
◎顔を合わせて話せないような言葉は書かない。

それ以外に、最近は保護者の方々の使用しなくなったスマホやゲーム機などでオンラインゲームを楽しんでいる児童が増えてきました。もちろん自分のスマホやタブレットでもです。



例えば上記のようなゲームをご存じでしょうか。かなり過激なバトル（殺し合い）が行われるゲームです。それをオンラインで友達同士、仲間で一緒にやっています。中には見知らぬ人と対戦している時もあります。一度子どもたちがやっているところをご覧ください。相手を罵倒するような言葉がいっぱいです。ゲームが終わらず深夜に及んだり、途中でやめようとすると、相手の子どもに嫌なことを言われたりすることもしばしばです。

しかも上記のゲームの矢印のところをご覧ください。「12＋」と書かれてあります。『12 歳以上でないとこのゲームはやってはいけません』という意味です。映画などにも年齢制限があるようにゲームにも年齢制限があります。もちろん子どもの発達段階によって変わってきます。中には『17＋』のゲームもあります。保護者の方々も知っていただいて子どもたちと使い方をご相談ください。